



写真:アカマツにとまるルリタテハ (撮影:平成30年10月25日)

「ルリタテハ」

人に寄ってくることも

気持ちの良い晴れた日、池めぐり自然探勝路を歩いているとヒラヒラとチョウがついてきました。歩を休めると今度はグルグルと周辺を回りだし、肩にとまりジツとしています。瑠璃色の美しいチョウ「ルリタテハ」。チョウというと花の蜜を吸うイメージですが、ルリタテハは樹液、果実、獣のふん、汗に集まり吸汁します。夏、カブトムシなどと一緒に樹液を吸っている姿を見ることが出来ます。逆に、このルリタテハが飛んでいけば、近くに樹液が出ている木があるサインだったりします。幼虫は、サルトリイバラやホトトギスなどのユリ科植物の葉を食べます。オレンジ色で全身にトゲがあります。刺すことはありません。成虫の美しい姿からは想像もつかない姿・形をしています。晩秋まで活動しているルリタテハ。ハイキングの際近くでチョウが飛んでいたら、観察がてら少し歩を休めてみませんか。もしかしたら瑠璃色のブローチをつけることができます。もしありません。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ルリタテハ
Kaniska canace

チョウ目 タテハチョウ科